

本来であれば、2月28日には午後から3年生とともに表彰式や卒業式予行を行うはずでしたが、急遽、1・2年生の皆さんには2時間目を終了したところで下校ということになってしまいました。しかもその時点ではそれ以降の予定が明らかになっておらず、本当に迷惑を掛けました。新型コロナウイルス感染症の影響が私たちの身近に迫っているとは2月上旬の時点では考えられず、予測できなかった事態が現実起きうるということを、身をもって体験しています。生徒の皆さんにも様々な点で制限された生活を強いることになり、結果的に終業式と離任式は行わず、教科書販売の日に数名の人と声を交わしただけで、多くの人とは顔も合わせず令和元年度を修了することになったのは残念でなりません。経験したことのない自然災害が頻発するようになったとよく言われますが、私たちの健康を脅かす病気の発生が、学校教育に関わることでなく社会全体の動きまで変えてしまうほど大きな影響を及ぼすとは考えてもみませんでした。私たちはこの事態を冷静に受け止めて、間違った情報に左右されることなく何とか乗り越えなくてはなりません。早く収束することを願っています。

さて、この1年間は皆さんにとってどのような年だったでしょうか。昨年5月に令和という新しい元号に変わり、ちょうど1年前はまだ平成31年であったのが、もう令和2年になっています。皆さんも高校入学後すでに1～2年が過ぎており、今までを振り返って今後の高校生活についてしっかりと考えてほしいと思います。楽しい高校生活を送ることは必要ですが、高校生活を楽しむというのは実際にはどのようなことか、その本質を見極めてください。確かに友達と他愛もないことについて会話をして心の安定を図ることや、面白おかしいと思えることをすることは必要です。しかし、楽しむということについて言うと、英語の *enjoy* にはそのような意味のほかに *possess and benefit from* の意味もあるように、何か有益なことを獲得することも必要なのです。自分の将来のために役立つことを身に付けながら高校生活を楽しむということが重要になるのです。楽しむということには常に学ぶという心の活動が伴っていることを自覚してほしいと思います。私たちは何かを行ったときには、それがうまくいったのかいかなかったのか、もう少し工夫をしたほうがよかったのかなど、様々なことを考えます。その時点で学んでいることになるのですが、それが活かせるかどうかは、しっかりと意識をして次の行動に反映できるのか、あるいはただ心の中で感じ取っただけで終わってしまうのか、という違いが大きく影響するのだらうと思います。

皆さんの中には後期中間までの定期考査で自分が期待するほど点数が取れずに、学年末考査で何とか挽回しようと考えていた人がいるだらうと思います。ところが今回の事態が起こり、2月28日までの学習活動の成果を総合的に判断して皆さんの成績がつけられました。その結果に満足できないという人は、次のことを考えてください。将来を見通して、この時期にはこのことに取り組もうと考えて計画的に物事を進めることはある意味必要なことですが、その時点になって計画したことが実行できないことがあるということ、今回の感染症の拡大で十分理解できただらうと思います。つまり、先のことを考えて自分が発揮できる力を出し惜しみするのではなく、実行すべき時に最善を尽くすことが望ましい結果として表れることにつながるのです。与えられたそれぞれの場面でしっかりと取り組む姿勢が必要であることを理解してください。

最後に、この休校期間が皆さんにとって決して無駄な時間ではなかったことを願い、来年度に向けて社会全体が平常の状態に戻り、4月8日には皆さんが池田高校で新たな学びや様々な活動を始めることを期待して終業のあいさつとします。